



バンブーギター演奏会

バンブーギター演奏「デュオ・アルゲンテウス」

平成30年10月20日（土）

14：00開演

本日のプログラム

1. 紹介 (5分)
2. バンブーギター演奏 (1) 演奏 : デュオ・アルゲンテウス (20分)
3. バンブーギターとは 製作者 : 前田剛志 (10分)
4. バンブーギター演奏 (2) 演奏 : デュオ・アルゲンテウス (25分)

1. バンブーギターの紹介

- **バンブーギター製作者：中山修**
その弟子：前田剛志
- **バンブーギター演奏：**
デュオ・アルゲンテウス





バンブーギター製作者： 中山修のご紹介

- 出身：秋田生まれの新潟育ち
- 中学生の時にギターにあこがれ、東京でレッスン
- 大学時代に、スペインへギター留学
- 9年間、本場スペインで、巨匠ナルシソイエペスのもとで演奏技術を磨くとともに、ラミレス工房にてギター製作の修行を行う
- 日本帰国後、ギター演奏、ギター製作家として活躍
- 38歳の時にバイク事故により、ギター演奏家を断念
- 奥さんの実家大川で木工所で働く……………

若き中山修氏（左）と、巨匠ナルシソ・イエペス氏（右下）



ギタリストたちとの交流

右：レオナルド・ブラーボ
左：村治佳織



バンブーギターデュオ 「アルゲンテウス」メンバー紹介

- **前田剛志**（技術士（建設部門）、コンクリート診断士） 71歳

建設コンサルタント会社で、土木技術者として、主に、河川構造設計技術者として勤務。定年後、バンブーギター製作家中山修に師事し、バンブーギター製作者として修業中。ギターは、中学生より始める。

- **矢ヶ部輝明**（技術士（総合技術監理部門、建設部門）） 64歳

建設コンサルタント会社で、土木技術者として、主に、環境計画、地域づくりを専門とする技術者として勤務。退職後、小学生から始めた趣味のギターで、演奏会、高校ギター部の演奏指導等をおこなう。



バンブーギター・デュエット アルゲンテウスの誕生

- 還暦を迎えて、ギター製作家中山修氏に師事し、ギター製作を始めた前田氏。同じく、遅れて還暦を迎え、ギター演奏に目覚めた矢ヶ部
- 二人が、30年ぶりに、八女の「八女ギターフェスティバル」で再開したことが切っ掛け。
- 竹で作ったギターの魅力を、自分も楽しみながら「ギターの音楽をみんなに」ということで、日本で唯一（？）のバンブーギター・デュエット「デュオ・アルゲンテウス」を結成し、まずは、身近な場所でコンサート・ライブを行い、バンブーギターのPR活動を進めています。
- 「アルゲンテウス」とは、「銀」を意味するドイツ語です。



T V、ラジオに出演！



櫻井浩二 インサイト

聞いてよかった。
RKBラジオ
(月～金 6:30～9:00)

櫻井浩二
インサイト

田中みずき(月～木) 櫻井浩二(月～金) 高橋早紀(金)

第1回 バンブーギター2重奏
マッシュケナダ / スペイン
また書に恋している / 森玉明
アゲージョ / A.マルテロ
土曜と美濃 / スプラームス
月夜 (二重奏) / 矢ヶ部
インスピレーション / アートロブ

第2回 バンブーギターの魅力をソロで
アラビヤ風夜曲 / アタレダ
ラダリマ、アゲリーダ / アタレダ
ミロンゴ / カルロス
ニストレリーナ / 足部輝明
アルフォンシーナと娘 / A.ラミレス
ひまわり / 足部輝明
マルチ / M.ペライア
失われた恋 / エロスマ
もしも彼女が帰ったら / D. レイズ
響の華、はなみずき 等

前田剛志制作

演奏：前田剛志、矢ヶ部輝明

バンブーギターの世界

平成28年6月19日(日)
18:30 - 20:00 まで
(開場 18:00)

Midori 食堂

福岡市西区尾道 6-9-2 (地下鉄尾道駅より徒歩約10分)
TEL. 092-634-2400

無料
お昼のおいしい飲み物、食事を取りながらお楽しみください
ちなみに、演者も...as my wife gave m...ということ

テレビ：NHK、RKBに出演
ラジオ：RKBラジオに出演
新聞：有明新聞に掲載

2. バンブーギター演奏（1）

ギターの名曲の数々

1. 紫陽花 / LICANFENG
2. オルフェの歌 / C. ジョビン
3. ベサメムーチョ / C.ベラスケス
4. ミロンガ / カルドソ
5. カバティーナ / S.メイヤー
6. オブリビオン / A.ピアソラ
7. インスピレーション / ギプシーキング

4. バンブーギターとは

ギター製作者：前田剛志

- 土木業界で30数年間働いてきた技術者がみるもう一つの夢。それは、世界でも珍しい竹で作ったギターで、自分も楽しみながら「地域おこしを！」「ギターの音楽をみんなに」ということ。

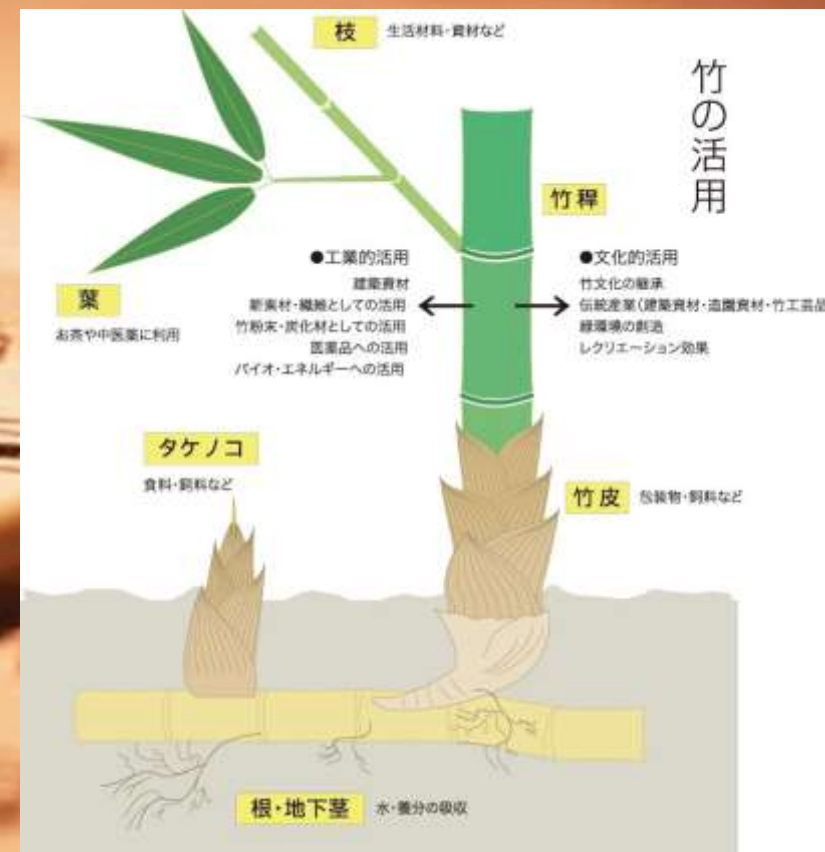


「竹」は、日本固有の文化を支えてきたのに、 いまでは、厄介者に……

私たち日本人と竹の関わりは古く、縄文時代の遺跡から竹を素材とした製品が出土しています。農業・漁業などの生業、日用品としても、竹はごく身近にあって、軽くて加工性の高い素材として、日本では、活用されてきました。

伝統的な日本家屋にはいたる所に竹が使われていました。また、竹は古来から積極的に日本各地に植えられ、手入れの行き届いた竹林は、美しい風景をかたちづくってきました。

しなやかでいて強く、多岐にわたる用途に活用できる竹は、まさに自然からの恵みであり、日本文化の伝承や人々の暮らしに欠かせない植物です。しかし、・



竹害・・・・・・・・

- 元来繁殖力が異常に強い樹種である孟宗竹は、これによって竹林の周囲に無秩序に進出し、既存の植生を破壊していった。
- 孟宗竹が進出するとアカマツやクヌギ、コナラなどかつて里山で優勢であった樹種が置換され、生態系が単純化してしまうことや、孟宗竹は土壌保持力が低いため崖崩れが起きやすくなるなど、各種の害が発生することが現在問題視されている。

(以上、「ウキペディア」より)



でも、竹は魅力ある素材には間違いない！ バンブーギターの紹介

1.バンブーギターとは…

八女市立花町に繁茂する大口径孟宗竹の硬質部分に弦楽器の素材としての可能性を見出した*中山修が、18年の歳月をかけて開発した遠達性のある演奏会用の竹製のクラシックギター、特許第4414483号。

主な特徴は①弾性波速度の速い竹の硬質部分に対応した接着剤の使用。
②乾燥収縮に依る竹特有の湾曲を直交異方性の合板を作成する事で解決。
③竹の弾性係数大なるが故に音の遠達性大なるに加え音質の煌びやかなること。④ナルシソイエペス氏が*中山修に残した遺言『ネックから音の出るギターを造れ！』の実現がミッションのゴール。





バンブーギター開発の経緯

話は半世紀ほど前へ遡る…小原安正氏の指導を得て早稲田大学2年生時、19歳でスペインに渡った*中山修は、ナルシソ・イエペス氏に奏法を、ラミレスⅢ世にクラシックギター製作をそれぞれ9年間学び、帰国後ギタリスト&製作家として活躍した。芸術家としての全盛期、30代後半に交通事故で両手首を骨折、ギターに対する燃える思いを泣きながら封印、20年が経過する。そして断ちがたい夢を捨て切れず、60歳を目前に不死鳥のごとく蘇り、バンブーギターの開発に全力投球。2009年8月に筆者が特許申請し、2009年11月、異例のスピードで特許化された。

バンブーギターは八女市の名と共に海を渡り、過去4年間、毎年韓国政府に招待され、異国のギター展示会に出展、外国人ギタリストの高い評価を得ている。

バンブーギターフェスタ 2013 in 八女



八女市で生まれた世界でオンリーワンのバンブーギター。
我々は和魂洋才の新しいクラシックギターの発展を応援
しております。

八女市長 三田村統之



ふるさとへの感謝と誇りと愛着。そして、未来へ。

八女市は市制施行60周年・合併5周年を迎えました。

ギター製作の現場（中山工房）

久留米市城島



弦楽器フェアへの出展風景



クラシックギター フェスタ 2016 in 大阪港南ATC にて



第58回弦楽器フェアにて
左は中山修氏。中央は、ストラビバリ
ウスモデルの巨匠Stefano.Comia氏

5. バンブーギター演奏（2）

1. 水神の踊り (バンブーギターのソロ演奏)
2. 赤とんぼ (10弦 バンブーギターのソロ演奏)
3. 湯の町エレジー (古賀メロディーの二重奏です)
4. 悲しい酒
5. 誰か故郷を想わざる
6. 浜辺の歌 / 成田為三 (エンディング曲)

本日は、ありがとうございました



また、どこかで

お会いしましょう

